

第39回上映会



神山征二郎監督作品
(2014年/日本/110分/ブルーレイ上映)



©2014「救いたい」製作委員会

2015年5月30日(土)

[上映時間] ①11:00～ ②14:05～
[講演] 13:00～13:50 神山征二郎監督
[会場] 横浜市西公会堂

『救いたい』

[物語]

川島隆子は仙台医療センターで麻酔科医長を務める優秀な麻酔科医。夫の貞一も意志であり、仙台市内に川島医院を開院し、立場は違えど医者同士、お互いの仕事を尊重しながら夫婦二人で仲睦まじく暮らしていた。そして2011年3月11日、あの未曾有の震災が起こった。その後、貞一は川島病院を無期限の休診にし、被災地で地域医療に従事するため診療所を立ち上げる。そこにはあの日乗り越えて、少しでも前向きに生きようとしている人々の笑顔があった。隆子の部下である若い麻酔科医・鷹峰純子。彼女は震災で唯一の肉親であった父親を亡くしそのトラウマから抜け出せないでいた。父親の探索時に純子と出会った自衛隊員の三崎大樹は純子に恋心を抱いている。お互いに心惹かれあっているのだが、大樹と会うと純子は父親のことをさまざまと思いだしてしまい、どうしても彼を受け入れることができずにいた。悲しみや厳しい現実を受け入れながら、それを乗り越えようとする人々。今を生きる、心やさしき人々のドラマが交錯する……。



©2014「救いたい」製作委員会

[キャスト]

川島隆子……鈴木京香
川島貞一……三浦友和
鷹峰純子……貫地谷しほり
三浦大樹……渡辺大
吉田美菜……中越典子
吉田ふみ江……藤村志保
岸義行……津川雅彦

[スタッフ]

監督……神山征二郎
脚本……古田求
原作……川村隆枝
制作総指揮……吉田尚剛
製作……鍋島寿夫
プロデューサー……永田博康
撮影……加藤雄大
照明……岩下和裕
録音……武進
美術……新田隆之
主題曲/主題歌・小田和正

☆ 神山征二郎 監督 プロフィール

1941年生まれ、岐阜県出身。日本大学芸術学部映画学科中退後、新藤兼人監督が主宰する「近代映画協会」に参加。新藤兼人、吉村公三郎、今井正各監督の助手を経て、1971年『鯉のいる村』で監督デビュー。以降ヒューマニズムあふれる作風で数多くの話題作を発表し続けている。主な作品に『二つのハーモニカ』(76)、『ふるさと』(83)、『春駒のうた』(86)、『ハチ公物語』(87)、『千羽づる』(89)、『白い手』(90)、『遠き落日』(92)、『月光の夏』(93)、『さくら』(94)、『ひめゆりの塔』(95)、『三たびの海峡』(95)、『宮澤賢治 その愛』(96)、『郡上一揆』(00)、『大河の一滴』(01)、『草の乱』(04)、『北辰斜にさすところ』(07)、『ラストゲーム 最後の早慶戦』(08)、『学校をつくろう』(11)など。本作が29本目の監督作品となる。

『救いたいパンフレットより』

< 2015. 2. 28 第37回上映会 >

『標的の村』

来場者数 394名
アンケート総数 171枚(回答率43.4%)

作品についての評価・感想

「とても良かった」141枚 82.5%

- 観光地として有名な沖縄であり、自然が多く残る素晴らしい所であり、多くの人が訪れるところである。しかし、同じ日本人として基地反対、オスプレイ反対の声はどこか遠くの国のことのように思ってしまう。恩恵を受けていながら何もできない自分が恥ずかしくなった。この映画を観られたことは、とても良かった。出会えて良かったと思える作品だった。
- みたいと思っていたのですが、なかなかチャンスにめぐまれず、やっと今日、観せて頂きました。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。単なるドキュメンタリーにとどまらず、芸術作品としても優れています。
- 国の弱い者いじめのやり方がよくわかった。住民は自分たちの生活を守りたいと思っているだけなのに。沖縄の問題が身近になった。
- 沖縄の人々同士がにくみ合うような状況にあるのがとても辛い。
- ここまで大変な状態を、本土(関東)の多くの人には知らないでしょう。あちこちで公開されて、少しでも多くの人たちに知ってほしいと思いました。ほんとうに悔しい。
- もっと広く上映・活用できるよう(DVD化)できないでしょうか。監督のメッセージに感動です。
- 生きることは闘うこと。元気ができました。
- このような作品に出会えたことをとてもうれしく思います。しかし、私に何が出来るのかと問う。子供たちに伝えようと思います。沖縄の置かれた状況、戦争を続けるアメリカ、現政府の目指すこれからの日本の姿、何か考えてくれると思います。本当にありがとうございました。
- 教育委員会、恥を知れ!と上映後に強く思いました。
- テレビではニュースのひとつとして観てしまいますが、沖縄県民の立ち場、思いが伝わってきました。

- 沖縄の人の抵抗し続ける力にエールを送りたい。三上様今後も応援いたしております。頑張りましょう。
- 三上監督のメッセージ「ヘリポートをつくっておスプレーを配備しようとする勢力と刺違えるくらいの積りでこの映画をつくりました」に感動しました。この映画を沢山のの人に、一人でも多く観てもらいたい。そのために、自分のできることを一つでも多くやりたいと思います。
- 今までの上映の中で一番心に残ります。戦争がおこりそうな気がしました。
- 悲しすぎて拍手もできませんでした。ごめんなさい。沖縄にはまだ行ったことがないので、行った時には高江の村を、行って応援したいと思っています。心から応援しています。
- 不覚にも涙が出た。泣く映画ではないのに。新しい政党がぞくぞく出来てきたが、維新の党とか会という人(参加者)みている。自分ら知識人と思いがっているようだ。反面に位置していることがわからない人達なんだということに気がついていない。ロシアに勝ったと思いがった能天気な連中が何を血迷ったか、第一へも第二次大戦へわざ参加してしまった。浜口雄幸そして幣原喜重郎これは本郷での同級生。浜口なぜ金解禁してわざわざ日本をビンボーにしたのか。しではら汝こそ北方四島問題をつくったのではないのか。しかもこの程度の人物がその後首相とはなんと人材不足か。真のリーダーはどのようにして発掘していくかを考えないとダメ。更、キッシンジャ訪日の意味を理解できなかったフクダ派のサトなどそのつづきをいまだにやっているのか。
- この様な映画は通常の映画館ではみる事が出来ないのも有りがたい事だと感じています。
- 涙が出てしまった。なぜ生命がけなのか良くわかった。といつてもうわべだけかもしれないが。

- 孝江の人たちのリアルを知れたことが私にとっての最大の土産になりました。今、もやもやしている思い、国、政治に対する怒りを家族、教会員と共に共有します。日本人の「流されてしまう」危惧を憶えます。ヤバイんだと、何か奮いたたせてくれる作品でした。
- 日本政府はもちろんアメリカにもにくい不正だからだと言うことがあらためて確認できた。人権しんがいはなほはほしい。憲法違反もいいとこ。
- 「おきなわ」の事は知っている様で知らなかったと感じた。おきなわの人達のぎせいで安保条約は成立しているのだと思った。安保条約は撤廃すれば良いと思う。つまり不必要!!
- 思考を止めてはならないと思いました。弾圧は抵抗を呼ぶ。抵抗は友を呼ぶ。そんな言葉を思いました。観れて良かったと心から思います。沖縄は戦後ではないとおきなわのおばあが言っていたことに実感をもてました。平和を願います。
- 地元民法の放送が見られないことを映画という形でまとめて下さったことに感謝します。焦点の問題が大変良くまとまっていたと思います。会場が満席にならなかったのがとても残念です。
- 以前にも見たことがあって、横浜でも上映されるということで見にきました。横浜市教育委員会から後援が撤回されたことを聞き、見てほしくない人がいることに悲しい気持ちになります。
- これで2回目でしたが、改めて政府に対する怒りと自分がまだまだできることはたくさんあると決意できました。
- このような映画はもっと上映すべき。良かった。三上さん、ごころう様。ありがとう。
- すばらしい映画、感動しました。安保破棄!! 辺野古新基地建設中止。高江ヘリパッド運用をやめる。神奈川の基地もなくしたいね。
- 自分が何をすべきか考えさせられました。
- 毎日、新聞テレビ等の報道を見聞き、政府のめざす方向に危機感を感じている今日この頃です。沖縄の人々の苦しみが少しでもなくなる様、支援していきたいです。
- ヘリパッドの問題は、ずっと前から知っていたし、多少関心もあったのに、行動できなかった事がくやまれる。今から出来ることもたくさんある。実行出来る人になりたい。私は、沖縄も人々も大好きだから。平和とは何か、今もっと真剣に向き合うべき。
- 私も高江に行って座り込みたい! 高江に観光に行きたい。上映終了後、会場から自然に拍手が沸きました。みな心をひとつにした感動の一瞬でした。よい映画をありがとう。
- たくさんの人にみてほしい。こんなことが許されるのか、いかりでいっぱいです。
- 闘う姿に感動しました。
- 心がふるえてきました。映画とは真実を伝える大切なものです。屈しないでください。
- 沖縄で行われている事が、考えていた以上にひどい事が分かりました。沖縄の人の「県外の人」に対する気持ちをよくみとる必要がある。
- あまり知らない沖縄の抵抗や、人たちの状況がとても良くわかった。戦後というのが沖縄、いえ日本の戦後はまだ終わっていないという思いになった。いろいろな所でこの映画も上映して欲しい。
- 沖縄の現状が全く報道されないことについて衝撃を受けた。司法の判断には疑問を持った。
- 沖縄での様子が、本土ではあまり報道されていないので、状況がよく分かり良かった。期待以上でした。全国で上映されると良いと思う。
- 沖縄の反対運動が良くわかった。マスコミでは報道されていないことである。
- 辛くて悲しい、且、大いなる義憤を感じた映画だった。日本と言う国家は、戦前より全く変わっていない。国家の中枢に居座る人たちの頭の中は異星人の様だ。
- 怒りの涙があふれてきました。アメリカに向いている政府の姿勢に憤りを感じます。今、どんどん軍事化されてきているのと考え合わせると私たちの平和の願いが遠のいていく怖さをひしと感じます。是非、多くの人に観てもらいたいです。
- 悲痛な気持ちでいっぱい。沖縄だけでなく多くのところが内密に開発され、自然と人尊を失っているのでしょうか。だけど横浜に住む私にはどうしたらいいのかわからない。もっと学ばなくては。もっと考えなくては。
- とても考えさせられた。住んでいる人たちを守れない日本に腹立ち、いかりをかんじる。私たちの大変な問題と思う。沖縄の問題だけではない。心からうたったえたい。住民を守るべき!!
- 表現の自由を守りたいと強く、強く感じた。どのような思想をも、相手を理解(判断)する”カテ”です。相手の事知らずして、一方的に報じることは「自由」の尊厳をこわすもの!! 横浜市民としてイカリを覚えます。
- もし、あなたの家の近くに基地ができれば、を思いました。
- 日本は本当に法治国家なのか? 民主主義国家と言えるのか? 沖縄県民を抑えようとする沖縄県警、防衛局、それを笑いながら眺めている米兵。たまたまなくなりました。
- 日本の平和は沖縄の方々のごせいの基に成りたっていることをあらためて強く感じました。このことを広く社会に訴え、法治国家のあり方、県民を守る為の警察ではないのかとのことばに涙しました。
- 国民が無知すぎるのか。やりたい放題の議員を選挙する国民のレベルが低いのか、悲しいですネ。このままいったら日本はどうなるんだろう。報道機関までもが権力に対してこびているのが気に入らない。

- 知らない高江村のこと、沖縄の住民がたいへんなこと、平和でない日本があることを勉強させていただけました。自分のこととして、これからも考えていける機会になりました。今後も見させていただきます。ありがとうございました。
- 三上監督が、刺し違えるつもりで命がけて作った映画です、とおっしゃった意味がよくわかりました。なんで沖縄の人たちがこんなに苦しめられなければならないのでしょうか。取りしめる沖縄県警も沖縄県民なんですよ。県民同士をいがみあわせるなんて、悪いのは国だと改めて思いました。泣けて泣けてしかたありませんでした。
- 村の人たちの文化の高さを知った。わたしたちも、自分の表現、文化をゆたかにもち、闘いを続ける力を身につけたい。
- 沖縄県民の団結、大らかさ、たくましさ、生きる力を感じます。日本の問題でもあることが、良く分かります。オスプレイ反対、辺野古新基地反対。
- 胸を打たれる気持ちになりました。新聞、報道では見ましたが、その内にあるもの、そこで生活する人たちのことを知らずに生活している私。これからの私、そして私たち、それから日本として何をしていけばよいか、何が出来るのか、良い日本？を待っていきたくと心から思いました。考えさせられます。ちゃんとした目を持ちたい。もっと情報しりたい。色々なこと。
- なぜ沖なわだけがあんな目にあわなければならないのか、本土の人々も、もっと理解すべきだ。国の米よりは理解できない。
- この映画によってアメリカ合衆国を？む、日本の支配層が沖縄県民同士を戦わせ自分たちの意思を通そうとしている実態を知った。これを内地でも多く知らせることが重要だ。
- 今日はきてよかったです。しらなかった。高江の人々が住むすぐ隣に基地がある事を。ベトナム村の事も知らなかった。
- 沖縄県民の気持ちを聞こうとしない政府に悲しみばかりです。反対する県民と抑えようとする警察との場面、涙が出ます。権力で沖縄県警も抑えられているようで、沖縄県民で戦わせて政府は何も思わないのか悲しみでいっぱいです。先日”圧殺の海”を見ましたが、涙と悲しみ、悔しさでいっぱいです。国はもっと沖縄の70年も考えて欲しいです。もっと同じ日本で何が起きているのか知る機会を与えてほしい。辺野古の事、サンゴが破壊されている事、福島で帰りたいけど帰れない人達の現状、気持ち、日本みんなの問題だと思えます。
- 沖縄のことは所詮ほとんどの日本人にとっては他人事と強く感じた。ほとんどニュースにもならない。最大の暴力団は国。被支配者同士を闘わせて自らは高みの見物をするのが支配者の常。
- 見損なっていたドキュメント、「標的の村」を取り上げてくれてありがとうございました。平和、平和と名うっている人々にみせたいドキュメント。現在、知られていた情報(私個人)は、ほんの一にぎりだったことに気付かされた。沖なわの実情を知ることになったことは我々はもっと真剣に実情を考えなければならぬことを教えられた。
- 「ベトナム村」？「スラップ裁判」？「ヘリパッド」？同じ日本なのに知らないことが何と多いことか！
- 原発事故をきっかけに放射能関連に非常に関心があり、脱被爆をメインに活動してきた。最近、辺野古での抗議活動をツイキャス(生中継)で1月から見始め、配信があれば必ず見る。先日、不当に米軍海兵隊に拘束された山城ヒロジさんもいたので、彼の活動は、かなり広く長い間に渡りご苦労されているんだと改めて思いました。「高江」という地名は、知っていたものの具体的な事は全く知らずにいたので、今回非常に勉強になりました。私自身、小学校の頃に沖縄・伊良部島に住んだことがあり、米軍キチがないところだったので、米軍がいることのヘイガイについては、全く肌で感じる事ができませんでした。沖縄本島でのご苦労がこんなにもあると、全く知らないことばかりでした。これからは、売国奴や安倍政権、ネトウヨに負けないように自分も活動を更に広げていくつもりです。辺野古での「圧殺の海」という映画もぜひ見たいと思っています。上映ありがとうございました。
- この映画をもっと多くの人達が観られる様、機会をたくさん作って下さい。中法のメディアへもアプローチを。
- スラップ裁判の事をはじめ知ったが、権力をもっている国が弱い個人に難くせをつけて訴えるってすごいおどしだと思った。私などお病者は恐ろしくて書名したり映画を見たりすることすらできなくなりそう。正しいと主張したら身の危険がせまるなんて許せない！今回、教育委員会の姿勢を聞いてびっくり。神奈川県だって基地が全国2位なんですよ。つい最近まで知りませんでした。
- 沖縄を孤立させてはいけなと思った。
- とても良かったを超越しています。気持ちは暗たんとしています。でも知らなくてはなりません。薄笑いの米兵が印象に残ります。
- 知っているつもりなのが本当はあまり知らなかったとわかりました。がんばるしかないとおっしゃる言葉が印象的でした。この先は高江や沖縄だけでなく日本中の声が集まらなければ力は発揮できないのかもと思います。最近の状況は最終段階なのでしようか。ならば勝利は近い。
- 沖縄の苦しみは、日本の苦しみ。豊かな緑、美しい海、それを破壊する国こそ非国民！
- 現在も続く米軍基地で苦しめられている沖縄県民。こんなひどい現実があまりにも知らされていない。より多くの人にみてもらいたい映画だと思います。

- ずっと見たかった映画を見ることができました。多くの人に見せたいと思いました。日本軍が昔住民を守らなかったように、警察もまた住民を守っていないことがよく分かりました。その大もとである国自体が住民を訴えるのだから、全く体質が変わっていないことがガンガン伝わってきました。怒りと涙で腹わたも顔もぐちゃぐちゃになりながら見ていました。故大西照雄さんの姿・声も出てきたので、あー、私も行動しなくちゃと思いました。
- 同じ日本に住んでいて、高江についても沖縄についても知らない事ばかりで、知ろうとしてこなかった事を恥ずかしく思った。高江の座り込みに参加したいと思う。今日、映画を観に来て、本当に良かったです。次は行動に移したい。
- 以前から観たかった映画でしたので、横浜で観ることができ感謝しています。本当にやりきれない気持ちでいっぱいです。9条のある国で、このあり様、本当に悲しい現実です。
- ネットウヨの妨害に負けず、よく上映してくれました。沖縄の実情がよくわかりました。ドキュメンタリーとして、すぐれたものだと思います。私も瀬谷区に住んでいるので、(あまり知られていないけど厚木基地は近い)米軍の飛行機騒音の被害、よくわかります。共感できた映画です。
- 多くの日本人に知ってもらいたい。本土の人達は知らない事が多い。私も色々応援したいと思いました。
- 会場が寒くて、映画に集中できなかつた。
- もっと若い人達に伝えるべき作品だと思います。インターネットやチラシが良いと思います。
- まづ最初に出てくるのは「怒」です。政府に対しての怒りです。そして、沖縄県民があれほどまでに体をはって守り続けてきたのに、真実を知らせないマスコミ・メディアに対してもです。何もしていない自分自身にも怒りを感じます。映画を見終わった後、怒りと悲しみで、しばらく立てませんでした。この映画は、英訳されて、もっと世界に知らせるべきだと思います。それを切に願います。
- 沖縄棄民=差別の思想が底辺にあると感じます。力強い記録・映像でした。
- TV等の報道で伝えられるのはごくわずかで、現地の様子がよくわかった。沖縄の人々に押しつけてきた現実を直視して、これ以上の困難を押しつけてはいけなくて改めて思った。
- 映像で見る迫力は想像以上でした。見たのですが、沖縄の人と一緒に体験したような気持ちになりました。頭で理解していたつもりと全く違うものを感じました。教育委員会の萎縮があったようですが、ぜひ、学校で上映してほしいです。こんなことでおじけづいては沖縄の人たちに申し訳ないと思います。これから、原発事故、辺野古など日本人一人一人が、本当にしっかりしないと人権などなくなっていく(もうなくなっている?)ことになってしまうと思いました。
- ニュースで知るだけの裏に、一般の高江の人々がどれだけ多くの犠牲を払っているのかを知りました。SLAPP裁判は許してはならない。昔に、学生たちと機動隊の闘いが同じ人間どうし、県民どうしが闘うことの悲しさに涙が出ます。
- この映画会は新聞のイベント紹介欄で知り、行きたいと思い、市教委が後援をやめたことを知り、絶対観なければならぬと思い、今日来ました。市教委のもとで働いている中学校教員です。本当に申し訳ない、情けないです。キネマ倶楽部の皆さんに悲しい思いをさせてしまいました。会長さん、映画の前にもっと思いを話していただいてよかったと思います。国からの圧力で動き、メディアからの追求で揺れるそんな教育委員会なんです。よくわかりました。大好きな沖縄、もっと注目し守りたい。大好きな東北、復興させたい。原発はいらない。オスプレイもいらない。頭の中がぐるぐるしています。
- 何で国は沖縄県民の反対を押してまで、基地政策をすすめるのか、説明が聞きたいです。(安保条約について等)これがかたくないと、同じことの繰り返しになってしまう。
- 日本が戦時下である事を誰でも解る様伝えてくれた。平和な国が幻想ではないと、私達一人ひとりが、声を上げ実動を供なって作り出して行かなければと思いました。共闘せよ!と力よく訴えた沖縄県人と連帯する!
- 市教委の対応についての説明有?なかった。国や米軍の暴力行為について見ていて本当になくなった。
- 沖縄の方々申し訳ない思いでいっぱいになりました。学校でもこのような映画を上映できる世になってほしいのですが、どんどん逆方向に日本がすすんでいってとても不安です。真実・事実を知る努力をしたいと思います。
- 基地をなくすこと。横須賀しかり横田も。
- 知らなかったことが実に多かった。国に民間レベルで戦わなければならないことは実に悲痛だ。結果がもちろんであれば良いけれども、そうでなくても戦わなければ人間ではない。その過程に人間性があられていた。結果はともあれその過程に感動した。
- 知らなかったではすまされない。でも知らなかったのです。ゴメンナサイ。恥ずかしいことです。住民の運動に感動した。
- 祖国復帰を果たしても、沖縄は本土から見捨てられている。こんな闘いが、マスコミで取りあげられないのはなぜだ!! 日本はいまだにアメリカの占領地なのだと思つた。許せない!許せない!
- 国家権力の前には住民の存在の小ささが悲しかった。ゲートにすわりこんだ人たちの中に私もいるはずだが、私も排除されるだろう。守ってくれない国、この国はずっとこのまま行くのだろうか?

- ベトナム村のことは初めてでした。日本人をバカにしている。
- 生活をうばわれる事に対する純粋な思いに基づく抗議行動ゆえ、万感胸にせまるものがありました。しかしこれは決して沖縄の「村」に関する運動ではなく、日本が戦後以来、ずっと続けてきた悪しき政治の一つです。家族の無念の思いと怒りをまのあたりにしても我が事のようにうけとめる気持ちがあらためておきました。
- 先日、東中野で「庄殺の海」を観ましたが、今回の「標的の村」も観て、事態はさらに厳しいものであること、しばらく沖縄から離れている間に、自体は進行している感を強くしました。今回、よく上映して下さったと思います。今後も、好きな映画、観たい映画を自由に上映するという精神を守り、ご活動の発展を祈念します。
- 命がけでたたかっている姿に、自分が高江に住んでいたらと想像した。歴史を知る事、もっと勉強が必要だと思った。
- こちらでは、少しの情報しかはいらないので、その実態がわかり良かった。沖縄の人の犠牲の上に自分たちはいるんだなと思った。
- なみだが出ました。同じ沖縄県民が対峙することにくやしさがこみあげてきます。平和に暮らしたいということだけなのに権力の力をみせつけられました。
- ここには知り得ない現状を知ることが出来ました。日本人全体の問題であるのに、沖縄の方達に申し訳ない気持ちになります。
- 主権在民の憲法はどこに行ってしまったのかという感を強くもちました。改憲などということは、断じて許してはいけません。普通にらせる日にしてゆくことが今求められているのだと思います。
- 知っていると思って知らないことが多々ありました。こういう、沖縄の人々の思いを、ふみにじってオスプレイが配備されていることをTVでは伝えません。反対運動をしている沖縄の方々はじめ琉球朝日の姿勢に敬意を表します。
- 世界に特にアメリカ人にみせたい。記録映画で泣いたのは久しぶり。
- 主催者に感謝
- 以前から「標的の村」を観たく、観そびれたので観られて良かった。日本が自分の国土を国民をアメリカに売り渡しているとしか思えない。横浜に住んでいて日本人が日本を守らなくてよいのか!!
- 本土の人たちはもっと見なければ。本土から沖縄はみえていない! 本当に。
- 現実を放送局がもっと多く放送すべし。
- 事実に基づく報道姿勢。
- 命かけて撮った映画だと思いました。どのくらい大変だったかと思うと胸があつくなりました。届けて下さりありがとうございます。
- アメリカで是非放映して戴きたい。アメリカ市民に観て欲しい!

- 知らないこと、知らされないことが、あまりに多すぎる。沖縄で起きているふつうの市民がふつうに生活していられないことに怒りを覚えます。福島も同じです。メディアがいしゆくしてしまっている今、映画という手法で伝えて下さることに感謝します。
- こんな事実があるとは知りませんでした。衝撃的でした。

「良かった」23枚 13.5%

- 「へのこ」の作品も楽しみにしています。
- 映画としては普通でしたが、題材や過去の歴史から考えると、見るべきものだと思います。
- 考えるきっかけになりました。
- 今の社会、戦争の方向に進んでいるようで恐ろしいです。長い間、沖縄の人達は、基地のすぐ近くで生活し、日常的に考えざるを得ない状況に置かれ、生活と反対運動が結びついている。私達があるそこまで頑張れるかどうか、自分自身を恥ずかしく思っています。
- 沖縄の方々の気持ちを考えると、住み良い村から、恐怖の村へ変わってってしまうことに対する不安があるんだろうなと思いました。政府ももっと住民の声を聞くべきだったのではないかなと。。息子は、アメリカ軍を配備しておかないと、次は中国が攻めて(やっ)来るよと言っていたので、そっちの方がイヤだなと思いました。
- 沖縄の人々の負担の大きさが伝わりました。国の指導者と云われている人達が当事者、負担者の立場になってみるのが求められます。彼ら指導者が困難生活を強いられている人達と同じ生活をしても、必要とするなら、国民全体が負担を分けてくださいと、国民に説明すること、日本人それぞれがそれに対して深く考えて答えを出し、日本の方向を?
- 昨秋、沖縄へ行きました。44年ぶり。当時はパスポート持参でした。表向きは変わっても中内は変わらないという印象でした。普天間を見下ろす道の駅で平日すごしました。今回持参したガイドブックには、どれも同様の観光ガイドは満載ですが、基地ガイドは皆無に近く不自然なほどでした。日本中でこの映画を上映し続けるべきだと思います。大和市から来ましたが、他人事ならず。沖縄がんばれ。
- 私も「経産省テント裁判」を支援して3年。1昨年「敗訴」が下されたので、これからテントを守る為、寝泊りするが、ガンディーの無抵抗、非暴力で座り込みをする予定です。日本が冷戦後、真実の姿を現してきて、それを直視できない日本人の多い中、沖縄の人が灯台です。「横浜教育委員推せん」を不思議に思った。歴史教科書など偏向しているので「へえー珍しい」と。だが上映前の説明を聞き、思った通りのレベル(低)と思った。
- 日本が相変わらず敗戦国であり、何ら主体性を持ってないでいることが悲しかった。

- まだそしゃくできないので今は書けないです。すみませんね。
- 知らなかったことが沢山あった。オスプレイを隠しているのが日本だというのは驚いたし、反対住民があんな理由で訴えられているのもひどいと思った。沖縄の人同士でやりあうのもつらいだろうと思った。
- 沖縄の方々の思いが迫って来ました。スラップ裁判というものを初めて聞きました。

「普通」3枚 1.7%

●マスコミを通して知っていたことを、具体的にまとめてもらって、今までの思いを新たにしました。敗戦の苦しみは10年や20年では消えない。80年も経った今、本当の痛みが判ってくる。戦争の総括をしないまま、あいまいに復活しようというのは甘過ぎるのだ。それにしても、日本人同士で争わなくてはならないとは情けない実情だ。歴代の政府がゴマ化し続けて来たツケを今払わなくてはならない。それには選挙民が自覚しなくてはならない。でも現状はどうだろう!「この道だけしかない」という精神異常者が「最高責任者」づらをしているのは、恐ろしい。(後半、映画の感想ではなくなくなってしまってゴメンナサイ!)

「無印」4枚 2.3%

- 基地の有様を身近な映像で記録して頂いた事に有がとうと言います。その気になって行動しなければ解決出来ない問題です。
- とても生々しい映像で息をのんだ。ありきたりではないとがったドキュメンタリー。
- 良い、悪いではないよね。
- 沖なわの苦しみもっと知らせていかなければ戦争はぜったいだめです。
- 市民が育っていない。一かくいう私も。国家と個人の関係について、もう一度しっかり考えたい。沖縄の人々の姿には、思わず涙が出ました。それは人として生きているから抵抗して生きる姿に感動した。

☆ アンケートご協力ありがとうございました ☆

〈これまでの上映作品〉 全42回 (特別上映会4回含む)

美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆれる/トリノ、24時からの恋人たち/
 長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイスー12歳の戦場—/モーターサイクル・ダイアリーズ/
 恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農業高校、馬術部/ラストゲーム～最後の早慶戦/
 マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/春との旅/
 小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/
 ハーモニー心をつなぐ歌/ドーバーばばあ織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ/
 月世界旅行・メリエスの素晴らしき映画魔術/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ/
 きっと、うまいく/日本の悲劇/ペコロスの母に会いに行く/息子/ハンナ・アーレント/標的の村

[[横浜キネマ倶楽部のページ]]

「第50回全国映連総会に参加して」

運営委員 岡田明紀

去る2015年4月11日(土)に開催された第50回全国映連総会に参加しました。

「全国映連」とは、正式名称を「映画鑑賞団体全国連絡会議」といい、映画を愛好し、日本映画がすぐれた文化・芸術として発展していくことをねがって活動する映画鑑賞団体の全国連絡組織です。

年に一度、加盟する上映活動団体が集まり総会を開催しています。今回の開催場所は、岩波ホールがある岩波ビル9階の岩波シネマサロンでした。

総会には、全国で映画の上映活動をしている団体(北海道から九州まで)が参加します。加盟団体は33団体あり、今回の総会に参加したのは12団体でした。

参加人数は44名となりました。横浜キネマ倶楽部からは、会長をはじめ5名の運営委員が参加しました。

13時30分に事務局長の山本均さん(呉映画サークル)が開会の宣言をし、総会は始まりました。司会は、運営委員の桑田葉子さん(神戸映画サークル協議会)が務め、以下の議案について、討議が行われました。

(議案)

I 情勢

1. 2014年の映画興行界
2. 2014年の日本映画界
3. 「表現の自由」とは何か
4. この1年の社会と政治をめぐる情勢

II 2014年の活動報告

1. 全国映連の取り組み
2. 加盟組織の動向

III 2015年の取り組み

1. 映画鑑賞運動の課題
2. 全国映連活動の計画
3. 組織拡大と活動の活発化

討議は、約2時間半に渡りました。

総会の中で昨年の映画業界の振り返りがあり、昨年の外国映画では、『アナと雪の女王』が254億円という大ヒットを記録し、一方日本映画では、『永遠の0』(87億円)と『STAND BY ME ドラえもん』(83億円、両作品共に山崎貴監督)がヒットを記録する結果となりました。

『永遠の0』については、一見感動的で、反戦的にも見える映画だが、根底には正しい歴史認識の欠如した巧妙な仕掛けがあることが懸念される映画という見方もされていました。

更に今年は戦後70年目という節目であるため、各映画会社で戦後70年を記念する作品の公開が控えています。

これらの作品がどのような歴史認識のうえで作られてくるのかは大変興味深いものがあります。

昨年の話題として、もう一つは北朝鮮の金正恩書記の暗殺をパロディーにした『ジ・インタビュー』が上映中止になった件やシャルリー・エブド社襲撃事件などが起こり、これらは、「表現・言論の自由」に対する脅威であり、「表現の自由」について考えさせられる出来事であったと感じました。

また総会では、各組織の活動報告をする時間がありました。

横浜キネマ倶楽部では、2014年4月から2015年3月までの上映会の活動について報告しました。

横浜キネマ倶楽部として一番印象的な出来事というとやはり、2月に新聞各紙で報道された横浜市教育委員会の後援を巡る2015年2月28日(土)の上映作品『標的の村』であったこと。伊藤幹郎会長からの、この出来事の経過を報告しました。

当件については、横浜キネマ倶楽部ホームページ(<http://ykc.jimdo.com/>)をご参照頂けると幸いです。

また、会員制について横浜キネマ倶楽部では、2011年4月から開始した会員制の見直しを検討している旨の報告をしました。見直し理由としては、会員制を導入したものの当初予測していたほど会員の人数が増えないことが挙げました。会員制にした現在においても会員以外の方の入場料によって運営資金を捻出している状況で、会員制の本来の目的を達成していないということで、会員制の継続について会員の意見をまとめている状況を説明しました。

討議の後、17時00分に総会は閉会しました。

総会の閉会后、全国映連賞贈呈式と受賞パーティーが開かれました。

この賞は、加盟団体の投票によって選出された賞です。

〈今年の受賞作品および受賞者〉

作品賞

『小さいうち』(日本映画)

『チョコレートドーナツ』(外国映画)

監督賞

山田洋次

呉美保

男優賞

染谷将太

菅田将暉

女優賞

上白石萌音

黒木華

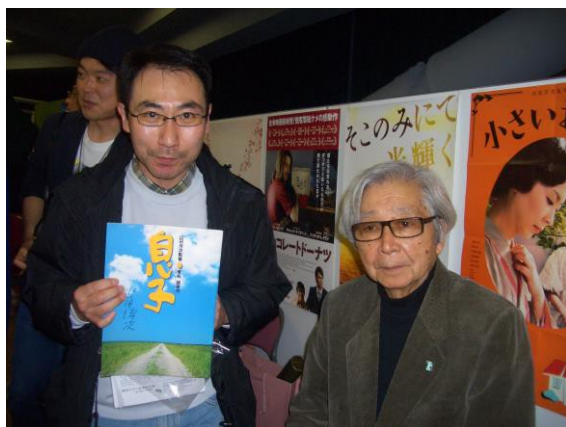
特別賞

木村大作

瀧瀬(はなぶさ)あや



キネマ倶楽部より男優賞染谷将太さん(代理者)に贈呈



山田洋次と一緒に記念撮影

受賞パーティーに出席された方は、山田洋次監督、呉美保監督、上白石萌音さん、木村大作さん、瀧瀬あや監督でした。

その他の受賞者(染谷将太さん、菅田将暉さん、黒木華さん)は仕事の都合で本人が参加ができなかったため、代理の方が受賞されていました。

全国の上映会関係者の方と意見交換ができて有意義な時間を過ごすことができました。

<<< 前売り券購入方法についてのお知らせ >>>

【ゆうちょ振込による前売り購入】

各上映会3日前まで、ゆうちょ口座にて前売りを受付いたします。
前売り料金(1,000 円)を以下の口座へご入金ください。
チケットは、当日受付にてお渡しいたします。

ゆうちょ銀行総合口座 記号 10200 番号 22932931
加入者名:ヨコハマキネマクラブ

【プレイガイドによる前売り購入】

〈前売り券取り扱い所〉

有隣堂伊勢佐木町本店 TEL 045-261-1231

高橋書店（元町） TEL 045-664-7371

シネマジック&ベティ TEL 045-243-9800

横浜シネマリン TEL 045-341-3180

いづみ書房 TEL 045-241-1104

【チケットぴあによる前売り購入】

Pコードについてはチラシ、ホームページにてお知らせします。

「セブン-イレブン」「サークルK・サンクス」でチケットの発券ができます。

上映会会場で、次回上映会のチケットを販売する予定です！

また、運営委員がチケットの販売をしていますので、よろしくお願ひします。

前売り券購入方法について、ご質問、提案等ありましたら、お気軽に申し付けください。

次回上映会のお知らせ

日時：2015年8月15日（土）

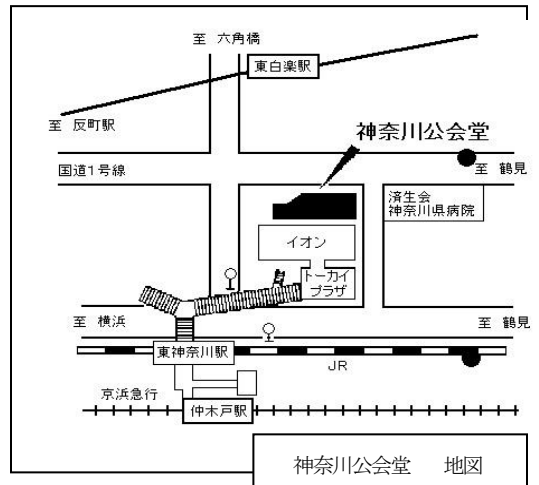
上映時間 12:00～14:51

〔入場料〕

前売り 1,000円
当日 1,300円
障がい者 1,000円（介護者1名無料）

〔会場〕 神奈川公会堂 045-432-3399

（JR東神奈川駅下車徒歩3分、
京急線仲木戸駅下車徒歩5分、東横線東白楽駅徒歩8分）



上映作品：『野のななののか』

監督・脚本：大林宣彦

出演：品川 徹 / 常盤貴子 / 村田雄浩 / 松重 豊

2014年 / カラー / 171分 / ブルーレイ上映 / 日本

〔事務局より〕

《会員制止のお知らせ》

会員制度は、2015年5月16日の総会にて廃止することに決定となりました。
つきましては、2015年度の会員募集は行いません。

《東北に映画を届けよう！募金のお願い》

東日本地震の被災者、とりわけ子どもたちに、移動上映会で映画を届けるための募金をお願いしています。ロビーにカンパ箱を設けましたので、ご協力お願いいたします。皆様からお預かりしたカンパは、コミュニティシネマセンターを通じて、被災地の事務局に届けられます。（2014年度募金総額は18,032円でした。ありがとうございます。）

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一歩でも近づきたい、それと同時に、良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。



横浜キネマ倶楽部会報

発行：横浜キネマ倶楽部

〒231-0012 横浜市中区相生町1の15
第2東商ビル4階-C 労働市民法律事務所 気付
TEL:080-8118-8502 (10時～18時)
Eメール: yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス: <http://ykc.jimdo.com>